



リモリマンスリー

第四号

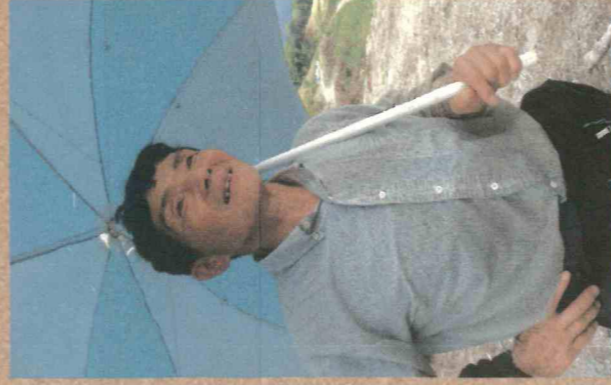
皆さん、こんにちは。町内の林業関係者で作る榑原令和の森林づくり協議会（通称リモリ）から『リモリマンスリー』で活動内容をお知らせいたします。

編集・発行：ReMORI（長谷川・笹岡）
お問い合わせ：森林の文化創造推進課
お電話：0889-65-0811
お気づきの点、ご意見・ご要望がございましたら上記までご連絡ください。

造・育林の専門会社“まんさく”研修

リモリ会長 笹岡高志 記

地植え、植え付け、下刈り、更に除伐を専門に請け負う会社があることを知りました。協力隊の育成係・森本正延さん（みどりの恵）の紹介で、このほど施業地を訪ねました。榑原町も皆伐が進み、その後の植栽が課題となっています。県内どこも同じ状況で、担い手の激減が要因です。町内の現状も厳しく、森林組合に2人のみ。育成が急務です。場所には旧本川村（現いの町）。間近に稲叢（いなむら）山が、眼下に大橋ダムの湖が見えました。施業地は標高千メートルの地点でした。樹齢77年のスギとヒノキが皆伐されて、その林地に（有）“まんさく”が地植えし、苗木を植えました。その下草刈りの現場に、榑原から計9人（協力隊員5、役場2、リモリ2）で訪ねました。



▲林春夫（67）社長

“まんさく”は林春夫（67）社長と夫人を含め、働き手は8人。煩多な事務は社長の長男が担当し、年間に30ヘクタールを地植え、約5万本を植え付けるそうです。林社長は旧十和村の生まれで、30歳の時本川村に移り住み、主に住友林業所有林の施業で生計を立ててきました。法人化は18年前、徐々に造・育林に特化しました。

驚いたことに、林業大学の卒業生二人が、今春入社していました。地味でシンドイ仕事（きつと給与も高くない）を選んだ理由は、何だったのでしょうか？若者の挨拶を聞くと、インターンシップ時に感じた「職場の雰囲気」が決め手だったようです。林社長は古武士然のお顔ですが、どこことなく話にユーモアが溢れていました。

宿毛と大阪出身の二人は、その人柄と熟達した技量に魅かれたのでは、と感じました。また、「月始めは妻が来てくれ、作り置きを構えてくれます」と話す中年男性。関西の市役所を58歳で退職し、本川3年目だそうです。しっかりと炎天下の仕事に熟（こな）す姿は、既に山師の気配でした。

林春夫氏は高知新聞の「声ひろろば」投稿者として、知る人ぞ知る存在です。季節の移ろいと山暮らしの愉しさを、山野草や野鳥に託して綴った文章に魅かれるファンが多い（筆者も）と思います。加えて、雪や雨の日対策を工夫し、会社は「熱中症対策手当」など福利厚生も努めていました。

再造林は「頑張っても報われない」事業とされてきました。「現場まで届く補助金の仕組みを作って欲しい。現場（働く者の処遇）を上げないと再造林・育林は進まない！」と、林社長は力を込めました。

“まんさく”に学びながら、榑原らしい仕組みを創りましょう。

民間企業、造林作業にチャレンジ！

リモリ事務局長 氏原智之（矢崎総業から出向） 記

早いもので榑原への駐在も間もなく3年になります。森林の事について何もわかっていない中で着任でしたが、立道課長や森林の文化創造推進課のメンバ―、また林業関係者の皆さんや地域の皆さんに教えていただき、少しずつではありますが、榑原の事、また森林の事など勉強させていただいています。まだまだ不勉強で皆さんには大変お世話をお掛けしておりますが、お礼を申し上げると共にこれからも宜しくお願い致します。

さて、駐在開始間もなくコロナ蔓延により様々な形で行動制限が掛かり、私が駐在した目的の森林再生に対し、矢崎総業としての活動が出来ておりません。矢崎より散発的な榑原訪問などはありましたが、やはり目的の前進に寄与するには継続的な滞在が必要と考えています。そうして途中で本年初頭より矢崎内で検討を進めていました「造林事業へのチャレンジ」が具体化しました。8月23日より東区仲洞にて少しではありますが、地植え・植林・保護ネット設置の作業をさせていただきます。教育には松山栄喜さんにお世話になります。

今回の作業者はこれまで工場で自動車部品を生産していた者です。屋内の作業から屋外での厳しい環境下での作業となります。体力的な心配と共に林業は危険が伴う一瞬たりとも気の抜けない仕事です。1か月という短い期間ではありますが、まずは怪我のない事、そして造林作業の基礎的な事、また自然の持つ力を少しでも感じてくれる事を願っています。

作業にあたる二人にとっって初めての榑原での生活となります。長くはありませんが、榑原の色んな事に触れて欲しいと思っています。

河添 昭人（かわぞえあきと） / 岡 良雄（おかよしお）

作業そして私生活面において有意義で思い出深い時間になる事を願っています。街で見かける事もあろうかと思えます。不慣れた二人ですが、温かい目で見守っていただけたら幸いです。

入場無料

令和
4年度

雲の上の 神楽大会

日時 **令和4年9月4日(日)**

時間 **9時30分～17時00分(予定)**

主催 **雲の上の神楽大会実行委員会**

会場 **ゆすはら座
(高知県高岡郡梶原町梶原 1496番地1)**

出演者 **梶原町津野山神楽保存会
梶原高校ディスカバークラブ**

◆プログラム◆

<津野山神楽全演目公演>

9:30～ 開会・神事

10:00～ 午前の部開始

(12:00～12:45 休憩)

※演目の終了時間により前後する可能性があります。

12:45～17:00 午後の部開始

17:00 閉会(予定)



【お問い合わせ】 雲の上の神楽大会実行委員会事務局 (梶原町教育委員会事務局 生涯学習課 生涯学習係)
TEL:0889-65-1350 FAX:0889-40-2055 〒785-0610 高知県高岡郡梶原町梶原1212番地2

高知大学教授

おりはし先生に聞いてみよう!

図書館で健康トーク



●所属学会
日本外科学会、日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会、
日本脈管学会、日本臨床外科医学会、日本循環器病学会、日本超音波医学会、
日本心工コ-図学会、日本心臓血管麻酔学会

高知新聞「よろず健康相談」コーナーで3年間回答者を務めた渡橋(おりはし)和政先生が、梶原の皆さんの健康に関する疑問・質問に答えます!

令和4年**11月6日(日)**14時～

会場：雲の上の図書館

痛みや不調の原因は?

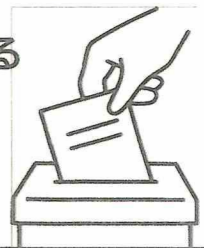
先生に質問したい方は以下の手順で応募してください

生活習慣はこれでいい?

- ①質問箱設置場所にある用紙に質問を記入する
- ②用紙を質問箱に投函する

医療の最新情報を
知りたい!

質問箱設置場所は、以下の施設です



- ・雲の上の図書館・梶原病院・ユルリゆすはら
- ・梶原町社会福祉協議会・梶原町保健福祉課

応募締切:令和4年9月30日

質問用紙に記名は必要ありません。質問内容を渡橋先生にお届けし、イベント内で回答していただきます。

高知県における新型コロナウイルス警戒レベルが引き上げられた場合、また梶原町内の感染状況により開催を中止することがあります。その際は町内放送でお知らせいたします。入館時には手指の消毒、マスクの着用をお願いいたします。また、体調がすぐれない方は参加をご遠慮いただきますよう、お願いいたします。お問い合わせ:0889-65-1900

